

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

| | | | |
|-------|------------|------|--------------|
| 施策コード | 123 | 施策 | コミュニティ活動への支援 |
| 管理事業 | コミュニティ施設事業 | 所管部局 | 市民部 |

| | | | | |
|---|------|------------|-------|---|
| 1 | 所管室課 | 市民自治推進室 | 事業名 | 地区集会所管理事業 |
| 事業概要 | | | | |
| 地区集会所管理 | | | | |
| 活動実績 | | 年度 | 令和2年度 | 評価の視点 |
| (1)吹田市岸二地区集会所の利用件数及び利用人数 令和2年度…276件・3,863人、令和元年度…494件・7,073人、平成30年度…536件・8,493人 (2)吹田市北山田地区集会所の利用件数及び利用人数 令和2年度…381件・4,893人、令和元年度…900件・16,269人、平成30年度…942件・19,114人 廃園となった幼稚園跡を、地区集会所として地域住民へ開放した。管理運営については、地域住民で組織された地区集会所運営委員会へ委託した。 | | 決算額（千円） | 5,877 | ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 施設の利用促進に努める。 |
| | | 一般財源の比率（%） | 100.0 | |
| 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数及び利用者数が減少している中で、施設の老朽化に伴い維持補修費が増加していることから、計画的な修繕等により経費の縮減を図るとともに、利用促進により事業効果を高めていくことが課題である。 | | | | |

| | | | | |
|--|------|------------|--------|---|
| 2 | 所管室課 | 市民自治推進室 | 事業名 | 竹見台多目的施設管理事業 |
| 事業概要 | | | | |
| 竹見台多目的施設管理 | | | | |
| 活動実績 | | 年度 | 令和2年度 | 評価の視点 |
| (1)吹田市立竹見台多目的施設の利用件数及び利用人数 令和2年度…357件・7,537人、令和元年度…1,380件・22,387人、平成30年度…1,611件・24,989人 吹田市立南竹見台小学校跡を、吹田市立竹見台多目的施設として地域住民へ開放した。管理運営については、地域住民で組織された吹田市立竹見台多目的施設運営委員会へ委託した。 | | 決算額（千円） | 15,230 | ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 施設の利用促進に努める。 |
| | | 一般財源の比率（%） | 100.0 | |
| 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数及び利用者数が減少している中で、施設の老朽化に伴い維持補修費が増加していることから、計画的な修繕等により経費の縮減を図るとともに、利用促進により事業効果を高めていくことが課題である。 | | | | |

| | | | | |
|--|------|------------|---------|--|
| 3 | 所管室課 | 市民自治推進室 | 事業名 | 市民センター管理事業 |
| 事業概要 | | | | |
| 市民センター管理(指定管理者施設管理) | | | | |
| 活動実績 | | 年度 | 令和2年度 | 評価の視点 |
| (1)吹田市立千里市民センター大ホールの利用人数及び利用件数 令和2年度…234件・8,415人、令和元年度…776件・84,844人、平成30年度…726件・50,040人 吹田市立千里市民センター大ホールの管理運営を行い、市民相互の交流並びに市民の文化及び福祉の向上のため、活動の場の提供を行った。施設の運営については、(株)東急コミュニティーへ委託した。 | | 決算額（千円） | 157,729 | ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 キャッシュレス決済の導入に向けた検討を進める。 |
| | | 一般財源の比率（%） | 89.6 | |
| 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 令和2年度より導入した吹田市公共施設予約・照会システムを一層有効活用し、キャッシュレス決済の導入等による施設運営の一層の効率化を進めていくことが課題である。 | | | | |

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

| | | | |
|---------|------------------|------|-----|
| 所管室課 | 事業名 | 所管室課 | 事業名 |
| 市民自治推進室 | 市民ホール管理事業 | | |
| 市民自治推進室 | 山田ふれあい文化センター管理事業 | | |
| | | | |

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

| | | | |
|-------|------------|------|--------------|
| 施策コード | 123 | 施策 | コミュニティ活動への支援 |
| 管理事業 | コミュニティ施設事業 | 所管部局 | 市民部 |

| | | | | |
|--|------|---|--------|---|
| 4 | 所管室課 | 市民自治推進室 | 事業名 | 千里ニュータウンプラザ管理事業(千里市民センター) |
| 事業概要 | | | | |
| 千里ニュータウンプラザ施設管理 | | | | |
| 活動実績 | | 年度 | 令和2年度 | 評価の視点 |
| (1)吹田市立千里市民センター多目的ルームの利用人数及び利用件数 令和2年度…777件・8,717人、令和元年度…1,419件・22,735人、平成30年度…1,422件・20,702人 | | 決算額(千円) | 54,410 | ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 |
| PFI契約により建設された千里ニュータウンプラザの管理並びに千里市民センター多目的ルームの運営を行った。施設の管理運営については、PFI契約に基づき、吹田南千里PFI(株)が行った。 | | 一般財源の比率(%) | 100.0 | |
| | | 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 | | 今後の実施計画の方向性・内容 |
| | | ・PFI契約に基づいて行われている施設管理事務については、状況に応じて運用を変更することが困難であり、突発的な災害被害への対応等、効率的な対応に課題がある。 ・令和2年度より導入した吹田市公共施設予約・照会システムを一層有効活用し、キャッシュレス決済の導入等による施設運営の一層の効率化を進めていくことが課題である。 | | 継続 |
| | | | | キャッシュレス決済の導入に向けた検討を進める。 |

| | | | | |
|--|------|--|---------|---|
| 5 | 所管室課 | 市民自治推進室 | 事業名 | コミュニティセンター管理事業 |
| 事業概要 | | | | |
| コミュニティセンター管理(指定管理者施設管理) | | | | |
| 活動実績 | | 年度 | 令和2年度 | 評価の視点 |
| (1)吹田市立千一コミュニティセンターの利用人数及び利用件数 令和2年度…195件・1,548人、令和元年度…537件・6,702人、平成30年度…523件・6,681人 | | 決算額(千円) | 142,362 | ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 |
| 吹田市立千一コミュニティセンターの管理運営を行い、文化学習活動、ボランティア活動等市民の多様な地域活動の場の提供を行った。施設の管理運営については、地域住民により組織された吹田市千里コミュニティ協議会へ委託した。 | | 一般財源の比率(%) | 82.4 | |
| | | 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 | | 今後の実施計画の方向性・内容 |
| | | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設の利用件数及び利用者数が減少していることから、吹田市公共施設予約・照会システムの導入等により、施設利用を促進することで、事業効果を高めていくことが課題である。 | | 継続 |
| | | | | 吹田市公共施設予約・照会システムを導入する。 |

| | | | | |
|---|------|---|-------|---|
| 6 | 所管室課 | 市民自治推進室 | 事業名 | コミュニティ協議会助成事業 |
| 事業概要 | | | | |
| コミュニティ協議会助成(内本町・亥の子谷・千里山) | | | | |
| 活動実績 | | 年度 | 令和2年度 | 評価の視点 |
| (1)内本町協議会助成事業の事業実施件数 令和2年度…31件、令和元年度…222件、平成30年度…139件 | | 決算額(千円) | 8,079 | ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 |
| (2)亥の子谷協議会助成事業の事業実施件数 令和2年度…325件、令和元年度…699件、平成30年度…447件 | | 一般財源の比率(%) | 94.9 | |
| (3)千里山協議会助成事業の事業実施件数 令和2年度…29件、令和元年度…202件、平成30年度…224件 | | 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 | | 今後の実施計画の方向性・内容 |
| 吹田市立コミュニティセンターの指定管理者である各コミュニティ協議会が行うコミュニティ醸成事業に係る経費の一部について助成を行った。 | | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の参加者数が減少していることから、オンライン講座等の新規事業を促進することで、事業効果を高めていくことが課題である。 | | 継続 |
| | | | | オンライン講座の実施を促進する。 |

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

| | | | |
|------|-----|------|-----|
| 所管室課 | 事業名 | 所管室課 | 事業名 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |